

図書館通信 —85—

1988. 10

昭和62年度大型コレクション “近現代ドイツ統計資料”について

高木正道

昭和62年度大型コレクションとして、本静岡大学附属図書館に、下記の3点の“近現代ドイツ統計資料”が蔵されることになった(但し、③は統計資料ではなく、『プロイセン年誌』という雑誌である)。

① Statistik des Deutschen Reiches (Neue Folge), 1—601, 1884—1944.

請求記号 Z—S

② Statistisches Jahrbuch deutscher Gemeinden, 1—70, 1892—1983.

(但し、1—30までのタイトルは Statistisches Jahrbuch deutscher Städte)

請求記号 353.4/ST2/1—70

③ Preussische Jahrbücher, 1—240, 1858, 1935.

請求記号 059.34/P92/1—240

またついでに付け加えておくと、近現代ドイツの統計資料としては、すでに下記の2点が教養部の昭和61年度と昭和62年度の特別経費で購入され、本学の附属図書館に所蔵されている。

④ Statistik des Deutschen Reiches (Alte Folge), 1—63, 1873—1883.

請求記号 Z—S

これは上記①の前身である。

⑤ Statistisches Jahrbuch für das Deutsche Reich, 1—59, 1880—1941/42.

請求記号 353.4/G36/1—59

以上の(③を除けば)4点でもって、近現代ドイツに関する統計資料がすべてカバーされているわけでは勿論ない(ドイツの主要な統計については、西川正雄編『ドイツ史研究入門』東京大学出版会、354ページ以下を参照)。しかし、これらの資料からわれわれは、近現代ドイツの政治・経済・社会・文化を研究するために必要とされる基本的な数量的データを得ることができる。

* * *

われわれは日頃、統計的な分析をする場合、上記のような第一次資料を使って数量的な分析を行うことは少なく、すでに加工を施されたデータを用いることのほうが多いように思われる。ドイツに関するその種の統計資料の代表的なものとしては、次のようなものがある。

W. Fischer, J. Kregel, J. Wietog, Sozialgeschichtliches Arbeitsbuch I, Materialien zur Statistik des Deutschen Bundes 1815-1870, 1982.

G. Hohorst, J. Kocka, G. A. Ritter, Sozialgeschichtliches Arbeitsbuch II, Materialien zur Statistik des Kaiserreichs 1870-1914, 2. Aufl. 1978.

われわれがこのような加工された資料で間に合わそうとする理由の一つは、なまの統計資料を扱うことはきわめて煩瑣であるうえに、莫大な労力と時間を要するからである。

ところが、近年におけるコンピュータ(ソフトを含む)の発達によって、そうした作業は格段に楽になり、ある意味では飛躍的な可能性が開かれたように見える。これまでは、とりわけ一人で行う研究の

(3ページへつづく)

〈私のすすめたい本・56〉

A. N. ホワイトヘッド著『科学と近代世界』

中山 潔

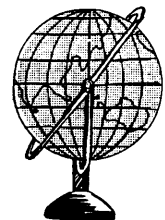
この欄を執筆するにあたり、自分の専門分野の本をあげるとすれば極力狭い範囲にならざるを得ないのでそれは避け、多くの読者に有益な本はないかと苦心した。自分の知的経験を述べさせていただくならば、物理学を学ぶ過程で、プランク、アインシュタイン、ボーア、ボルン、パスカル・ヨルダン、ハイゼンベルク、朝永振一郎……等々、枚挙にいとまのない程多くの巨匠達の論文や著作のお世話になった。また、読者には奇異に感ぜられるかもしれないが、私自身は物理学以外の分野（例えば人文科学）についても、これらの物理学者の著作を通して深く教えられたのである。このような知的経験を感謝をもって想起するとともに、改めて彼等の教養の「広さ・高さ・深さ」に驚嘆せざるを得ない。ホワイトヘッドも、実は私にとって同じような巨匠の1人なのである。表題の著作については、図書館所蔵のものは請求記号を付して文末に書き留めておいた。『科学と近代世界』を推薦する理由は2つある。第一は、文科系の人々にも理科系の人々にも広く読んでいただいて有益な本であるからである。第二の理由は、自然科学の近代世界に対する強い影響については何人も否定はしないと思うが、それがどのような本質を持っているかという段になると、一般には必ずしも深く理解されているとは限らないと感ずるからである。ホワイトヘッドの品格の高い省察は、このような問題を真剣に考える契機を与えてくれるものと思う。

ホワイトヘッドは今世紀のはじめ、ケンブリッジ大学、ロンドン大学で数学を講じ、ロンドン大学を定年でやめる頃には、英国数学会会長、ロンドン大学理事、インペリアル・カレッジ学長、大学評議会議長、アリストテレス協会会長などの要職にあり、同時に講義や著述など、極めて多忙な年月を送っていた。1924年、63歳で大学の定年を迎えた時、ハーバード大学は週3回の哲学の講義義務を条件に、直ちに彼を招聘した。ホワイトヘッドは、その機会にアメリカに移住を決意し、以後13年間ハーバード大学の講壇に立ち、アメリカの地で86歳の生涯を閉じた。大学の定年を迎えてアメリカに渡った後にも、旺盛な彼の知的活動は留まるところを知らず、彼は有名な著作を次々と世におくった。『科学と近代世界』はアメリカに渡っ

た翌年に出版され、今日に至るまで版を重ねて愛読され、世界のベストセラーの観がある。この本は、毎週1回計8回行われた「ローウェル講義」に基づく9つの章と、更に加えた4つの章から構成されている。夫人によると、講義1回分の章は、白熱の内に1週間で完成されたといわれ、講義内容の密度を思うとき、聴講した学生達の幸福を思わずにはいられない。

私自身の専門に関連してホワイトヘッドに学んでいることは量子論と相対性理論であるが、彼は『普遍代数学』、『プリンキピア・マテマティカ』（教え子ラッセルとの共著）等を通じて、純粋数学や記号論理学の分野で^{ロイヤル・ソサエティ}独得な業績をあげた。処女作『普遍代数学』だけで王立協会の会員に選挙される程、その業績は独創的だったといわれている。彼は、『プリンキピア・マテマティカ』の続巻の執筆にとりかかる頃から、価値の問題を記号論理学の枠内で論じ得るかという点で悩み、弟子のラッセルと訣別して独自の道を進んだといわれている。ホワイトヘッドは、経験論と合理論の現代的な総合を行い（例えば『過程と実在』）、自然の概念は勿論のこと、彼の思想は今日多くの分野に影響を及ぼし、彼の名を冠した学会が世界各地で設立されている。（理学部・物理学）

- (1) A. N. Whitehead : Science and the Modern World, Cambridge University Press (1925)
 <図書館所蔵 (1953年版), [401/W 68]>
- (2) 上田泰治・村上至孝共訳『科学と近代世界』
 ① ホワイトヘッド著作集, 第6巻, 松籟社(1981)
 [改訳版]
 ② 世界大思想全集, 哲学・文芸思想篇 17, 『ホワイトヘッド』, 85—307ページ, 河出書房(1959)
 <図書館所蔵, [080/SE 22/17]>



吉廣紀代子著『非婚時代』『男たちの非婚時代』

石橋太郎

「つきあっている人はいるけど、結婚したくない。」「なぜ?」「私たちが一緒になるだけでどうして親戚とかに挨拶しなければならないの? それにどうして、姓を変えなければならないの……?」これは、私の友達と、この二・三年の電話での会話である。もちろん、相手は女性である。彼女らの疑問に、私は何も答えることができなかった。世の中には、常識というものがある。常識をもって答えるならば、「それは君、わがままというものだよ」、と簡単にいうことができるかもしれない。私が法律家ならば、法が定めるところをもって論ずこともでき、また結婚の歴史とか、思想に詳しくれば、彼女らの疑問に少しでも答えることができたかもしれない。なぜ、結婚しなければならないのか。これは、彼女らの問題だけでなく、独身である私の問題にもなってしまった。

吉廣紀代子さんのこれら二つの著書は、そんな折りに、『非婚時代』が先に出版された。私自身の関心に、どれだけ答えてくれるかはわからないまま読んでみた。しかしその内容は、まったく理解ができないものであった。俗にいう、頭の中で理解することさえできなかったのである。その本は、非婚の女性に行われたインタビューをまとめたものだが、最後まで読むのは、苦痛に等しかった。

『非婚時代』から、およそ一年後に『男たちの非婚時代』が出された。これは、『非婚時代』の男性版である。再び苦痛を味わうために、この本を読んでみた。しかしその予想は、外れた。彼らの主張に賛同しかねるものはあったが、理解できたのである。自分自身驚いたことは、非婚の男性のということが理解できるというのに非婚の女性のい

うことは理解ができなかったことである。この話には、もう一つエピソードがある。『非婚時代』を読んで、まったく理解ができなかったという話を女性の友達にしたところ、自分にも読ませて欲しいとのことで読んでもらった。私の場合とはまったく逆の感想を彼女は話してくれた。そう、賛同はしかねるけれど彼女らの気持ちは理解ができる、とのことだった。そこで『男たちの非婚時代』も読んでもらうことにした。今度は、私にはまったく理解ができない、とのことだった。いったい結婚しない男とは、女とは何なんだ。いや、そもそも男と女は、何なんだ。これらの二つの本は、結婚ということを解きあかしてはくれなかったが、男と女の考え方、あるいは感じ方の違いというものを改めて気づかせた。理解することはできなかったものの、まったく新鮮なものであった。

人に本を勧める以上、読んだ結果何か学べるものを言わねばならないかもしれないが、私には理解することができなかったのでどうしようもない。もちろん、非婚を勧めるつもりもない。しかし、理解することができる人もいるかもしれない。その人の意見を聞いてみたい。そんな気持ちで、これらの本を紹介している。

もしかしたら、賢明なる学生諸氏には不用のものかもしれない。結婚について、そして非婚についてこの本はなにが明確な答えを与えることはないかもしれないが、世間に教え込まれた常識を破り、自らの考えを培うことができる若い時代に読んでみても、おもしろいかもしれない。

(法経短期大学部・経済統計学)

(1ページから)

場合には、大量の統計的データを処理することはほとんど不可能に近かったけれども、今日では、労力を惜しまずに根気よく時間をかけさえすれば、一人でもかなりの規模の数量的な分析ができるようになったのである。上記4点は、まさにそうした研究のための豊富なデータを提供してくれる貴重な統計資料である。

最近の経済史・社会史研究の重要な特徴の一つとして、数量的な分析の隆盛を指摘することができる。しかもそれは、近現代を対象とした研究だ

けでなく、もっと古い時代についての研究にも見られる現象である。このような傾向は単にコンピュータの発達の結果であるばかりでなく、それは可能な限り確実な基盤(データ)のうえに立って客観的な議論を行おうという意味の現われでもある。私個人としては当面、上記の統計資料を使って、工業化と人口変動の関連を探ってみたいと考えているが、多くの人々がこれらの資料を用いて優れた研究成果をあげられることを希望する。

(教養部・経済学)

電算機上の図書目録について (1)

和書係・洋書係

本年度から本館の図書目録が電算化されました。学術情報センターの総合目録データベースへの参加に伴う目録記述の「標準化」という要請と、当館で導入した図書館用システムのハード・ソフト両面にわたる制約の中で記述の仕方も大分わかりました。

今回から数回にわたって、本館の電算化図書目録について説明していきます。

1. 目録をとる資料

図書目録として電算機に入力するのは、図書扱いで受入される資料のうち、書名がハングル文字から始まる、ハングルの図書を除いたものです。ハングル図書でも書名が漢字から始まるものは、電算機に入力します。

2. 和漢書の表記

漢字はJISの第2水準までの文字を使用します。これに入らない漢字のうち簡体字や異体字、旧字体は、適宜第2水準までの文字にふりかえます。ふりかえのきかない文字については、〔 〕(角ブラケット。中は1文字分の空白)におきかえます。

また、書名、双書名、副書名、書名2、著者名についてはヨミを入力することになりました。ヨミは、カタカナおよび英数記号を使用し、分ち書き(語を区切って綴る)をします。

ヨミ方は、分ち書きの仕方も含めて、学術情報センターの方式に従います。(ただし、中国語、ハングルの図書の漢字は、漢音ヨミにします)

このヨミがそのまま検索語として使用されますので、目録の検索の仕方も従来とは異なります。詳細は利用者端末わきの「静岡大学附属図書館LOOKS/U 図書検索ガイド」をご覧ください。

3. 洋書の表記について

洋書の記述は、注記を除いてすべてヨミの欄に入力します。ただし、キリル文字については、キリル文字を漢字かなの欄に、そのローマ字翻字をヨミの欄に入力しています。またウムラウト、アクサンなどの符号は省略しています。特殊な記号で、表記出来ないものは、その言語におけるヨミを入力します。(例: §□section[英], Paragraph[独])

なお、キリル文字のローマ字翻字体系がかわりました。この点については、後の回で説明します。

[書誌情報照会 1]		88/10/15 15:37			
書誌番号	000087892	登録日			
和洋区分	01 シ・単区分	02 大きさ	20cm	ページ数	334.9p
マーク区	NC	マークNO	BN01601668	ISBN	
分類番号	P54	発行日	19870000	予約者数	0
巻次	00000	所属冊数	2		
書名1 新しい文化のために					
書名ヨミ1 ナツウイ フンブ ノ タメニ					
著者名1 Nizan, Paul					
著者名ヨミ1 Nizan,Paul					
双書名 讀書・ウニベルシタス					
双書名ヨミ ヲクシ ヲニベルシタス					
出版者 法政大学出版局					
出版者ヨミ					
版表示ヨミ					
処理選択 4 4:次画面 6:メニュー 11:更新 16:一覽 21:発注処理 30:簿本一覽 31:副画面照会					
S-NO. 3 P-NO. 4					

[書誌情報照会 2]		88/10/15 15:38	
書誌番号	000087892	登録日	880519
書名2 シリーズコード			
書名ヨミ2			
著者名2 Suleiman, Susan, 1939- /編注			
著者名ヨミ2 Suleiman,Susan,1939-			
副書名			
副書名ヨミ			
双書者1			
双書者ヨミ1			
双書者2			
双書者ヨミ2			
処理選択 4 2:前画面 4:次画面 6:メニュー 11:更新 16:一覽 21:発注処理 30:簿本一覽			
S-NO. 3 P-NO. 5			

[書誌情報照会 3]		88/10/15 15:39
内容注記ヨミ		
内容注記ヨミ		
一般注記ヨミ		
一般注記ヨミ		
件名1		出版地ヨミ 東京
件名ヨミ1		出版地ヨミ
件名2		
件名ヨミ2		
処理選択 4 2:前画面 4:次画面 6:メニュー 11:更新 16:一覽 21:発注処理 30:簿本一覽		
S-NO. 3 P-NO. 6		

[注記照会]		88/10/15 15:39
書誌番号: 000087892		
VT:OR: Pour une nouvelle culture		
NOTE: 著作目録: 巻末p1~9		
処理選択 4 1:検索 2:前画面 4:次画面 6:メニュー 11:更新 16:一覽 21:発注処理 30:簿本一覽		
S-NO. 3 P-NO. 7		

[ア プ ロ ー チ 照 会]		88/10/15 15:39
書誌番号: 000087892		
ソメイ:		
フジ:		
クメイ:		
処理選択 30 1:検索 2:前画面 4:次画面 6:メニュー 11:更新 16:一覽 21:発注処理 30:簿本一覽		
S-NO. 3 P-NO. 8		

4. 画面の配列について

1件の目録は「書誌情報照会1～3」、「注記照会」（1画面以上）、「アプローチ照会」の各画面からなります。どの画面にどの項目が記述されているかは、図を参照して下さい。主な項目の説明は、以下に行きます。

5. 書名について

図書に記された書名のうち、その本に最も密着したものを本館の目録における「書名1」とすることになりました。その上位にある書名は、すべて「双書名」の欄に入力します。「副書名」にはその「書名」の副書名を、「書名2」には、和書の場合第2番目の双書名を、洋書の場合「双書名」の副書名を入力します。

ただし、1件の目録に最低5画面を使用することから、なるべく1画面目でどの本か同定できるように案配してはいます。

欄の長さには限りがありますので、記述が収まりきらない場合もあります。その場合、欄の最後に「...」を補って、以後省略します。ヨミの欄で省略された分は、アプローチ画面のショメイの欄に記入します。これにより検索は可能になります。

(以下次号)

書名のとり方(例)

801	記号学研究 2 日本記号学会編
H11	東京 北斗出版 1982.4
2	286p 22cm
	2 パフォーマンス 記号・行為・表現
JL教研 1.Kigogaku kenkyū 2.Nihon kigō gakkai 3.記号	
(8222857)	④KE12 ⑤801 (巻) 3
8222857	2800円
KE12-122	JP82-31330 3
57.07.20 1	152700 362



書名1：パフォーマンス

双書名：記号学研究 2

副書名：記号・行為・表現

教職員著作寄贈図書(本館)

重松宗育 (人文学部)

『A Zen Forest』〈編訳〉 Weatherhill

⇨ 188.8/Z 3

土隆一 (理学部)

近田文弘 (理学部)

茨木雅子 (理学部)

『日本の湖沼と渓谷 9』〈執筆〉ぎょうせい

⇨ 291.09/N 77/9

土隆一 (理学部)

『静岡県の自然景観』〈編著〉第一法規出版

⇨ 455.915/TS 25

小和田哲男 (教育学部)

『武田信玄』講談社

⇨ 289.1/TA 59 O

『一冊まるごと徳川家康の本』KK ロングセラーズ

⇨ S 289.1/TO 36 O

『日本を創った戦略集団』〈執筆〉集英社

⇨ 281/SA 29/2

松田禎二 (人文学部)

『アリストテレスの哲学』行路社

⇨ 131.4/MA 74

『アウグスティヌスの哲学』(J. ヘッセン著)

〈訳〉行路社

⇨ 132.1/H 53

杉山恵一 (教育学部)

『青絲編』戸田書店

⇨ 911.51/SU 49

『喚問』私家版

⇨ 914.6/SU 49

『藤枝物語』静岡出版

⇨ 914.6/SU 49

『閑ヶ丘物語』静岡出版

⇨ 913.6/SU 49

『豚鷲の止り木』南アルプス研究会

⇨ 913.6/SU 49

『尻』南アルプス研究会

⇨ 911.56/SU 49

昭和 62 年度図書館統計

■利用統計

(1) 本館貸出・閲覧

学生貸出・閲覧 (学部別)

区 分	学生数	関 覧	貸 出		計
		(出納) 冊 数	人 数	冊 数	
人 文 学 部	727	3,983	6,356	10,317	14,300
教 育 学 部	1,013	2,660	8,867	14,681	17,341
理 学 部	377	381	4,337	7,488	7,869
農 学 部	306	68	941	1,543	1,611
教 養 部	3,737	2,426	11,704	20,051	22,477
法 経 短 大	495	1,322	128	206	206
院 生 等	277		上記各学部を含む		1,322
計	6,932	10,840	32,333	54,286	65,126

学生貸出・開架図書 (分類別) (冊数)

0 総 記	488	5 工 学	7,588
1 哲 学	2,118	6 産 業	885
2 歴 史	2,180	7 芸 術	2,119
3 社 会	10,082	8 語 学	1,067
4 自 然	15,687	9 文 学	4,514
		計	46,728

教職員貸出 (学部別)

	人 数	個 人		研究室備付		計
		人 数	冊 数	室 数	冊 数	
人文学部	75	860	2,646	40	147	2,793
教育学部	133	694	1,644	37	184	1,828
理学部	67	121	275	68	530	805
農学部	70	40	72	129	408	480
教養部	92	329	737	292	1,763	2,500
法経短大	14	45	104	60	916	1,020
事務職員	328	791	1,477	1	1	1,478
計	779	2,880	6,955	627	3,949	10,904

注) 研究室等備付図書は上記以外に電算機未入力が2,909冊ある。

上記の貸出冊数以外に雑誌貸出、学生(169冊)、教官(377冊)がある。

(2) 浜松分館貸出 (層別)

区 分	貸 出 冊 数
学 生	9,098
院 生 等	3,214
教 職 員	1,046
合 計	13,358

浜松分館貸出 (分類別)

(冊数)

0 総記	274	4 自然	4,597	8 語学	39
1 哲学	43	5 工学	7,199	9 文学	94
2 歴史	10	6 産業	9	雑誌	32
3 社会	57	7 芸術	19	合計	12,374

(3) 文献複写統計

区 分	本 館			浜 松 分 館			
	人 数	件 数	枚 数	人 数	件 数	枚 数	
依 頼	学 生	454	458	3,024	520	1,098	7,595
	教職員	1,540	1,971	21,135			
受 託	学 内	6,969	15,304	82,960	66	109	727
	学 外	1,015	1,555	11,865	342	521	3,530

外国への文献複写依頼 (本館)

相互貸借冊数

区 分	件数	枚(コマ)数
学 生	0	0
教職員	106	1,746
合 計	106	1,746

区 分	本 館	浜松分館
貸 出	19	7
借 用	151	18

■増加図書統計

() 内は昭和62年度末の累計

	本 館			浜 松 分 館		
	和 漢 書	洋 書	計	和 漢 書	洋 書	計
0 総記	534 (33,727)	334 (9,019)	868 (42,746)	18 (3,475)	0 (800)	18 (4,275)
1 哲学	1,150 (24,343)	707 (14,679)	1,857 (39,022)	16 (2,967)	25 (584)	41 (3,551)
2 歴史	1,790 (45,270)	215 (8,628)	2,005 (53,898)	6 (1,621)	0 (217)	6 (1,838)
3 社会	5,007 (130,823)	2,285 (42,109)	7,292 (172,932)	17 (3,400)	2 (436)	19 (3,836)
4 自然	1,935 (58,784)	2,188 (51,281)	4,123 (110,065)	784 (24,273)	1,087 (29,297)	1,871 (53,570)
5 工学	884 (21,997)	213 (4,002)	1,097 (25,999)	1,179 (34,315)	705 (21,190)	1,884 (55,505)
6 産業	1,022 (35,045)	220 (7,106)	1,242 (42,151)	1 (632)	2 (27)	3 (659)
7 芸術	576 (18,344)	159 (2,954)	735 (21,298)	13 (1,762)	1 (273)	14 (2,035)
8 語学	556 (17,342)	450 (11,581)	1,006 (28,923)	17 (3,047)	9 (2,131)	26 (5,178)
9 文学	1,052 (51,186)	602 (32,874)	1,654 (84,060)	11 (3,632)	1 (824)	12 (4,456)
計	14,506 (436,861)	7,373 (184,233)	21,879 (621,094)	2,062 (79,124)	1,832 (55,779)	3,894 (134,903)